

# 各地区の活動の紹介

## 7/23 みんなの広場たけのこ アイスクリーム作り

夏休みに入った7月23日(日)に4年ぶりで子ども向けの面白科学探検隊“ころころアイス作り”を開催しました。付き添いの親御さんも含め50名が参加し、作り方の説明を聞いた後で、3人ひと組に分かれて協力しあい2時間ほどでアイスクリームができました。最後にタオルに包んで30分間ころころと一生懸命ころがして出来上がったアイスクリームは、夏の暑さを忘れるおいしさでした。



## 7/23 中野町町内会 要援護者の 安否確認訓練

大地震や水害などの災害時に、自力で避難するのが困難な方(要援護者)の安否を確認する訓練を7月23日(日)に行いました。快晴の真夏日の中、支援者(160名登録)の協力を得て、65名の要援護者および介護施設4カ所の安否を確認しました。次回は町内の全戸対象の同訓練を12月3日(日)に計画しています。



## 7/28 鍛冶ヶ谷・ローレル地区 ふれあいサロン 夏休みゲーム大会

7月28日(金)に異世代交流の場として、「ゲーム大会」を行いました。この地区は小学生がなくなり、夏休みのラジオ体操やお楽しみ会に参加する小学生も少ない状況です。高齢者の参加も年々少なくなっていますが、スタッフは皆でお待ちしていますので、どうぞご参加ください。



## 8/06 俺のカフェ CD鑑賞

「俺のカフェ」は、介護等で忙しい毎日をご過ごされている方の居場所として立ち上げました。音楽は、参加される方に懐かしいCDを持参いただき、真空管アンプの音色も満喫できます。コーヒーは、プロの指導教育を受けたスタッフがおもてなしし、昔の音楽喫茶の雰囲気を味わえます。偶数月の第一又は第二日曜午後、中野ヶアプラザで開催しています。



## 7/29 鍛冶ヶ谷町内会 夏祭り

7月29日(土)に夏祭りを鍛冶ヶ谷西公園で開催しました。今年度はヨーヨー釣り、射的などのゲームに加え、焼きそば、唐揚げ、生ビールなどの飲食の露店も開かれてお客さんであふれていました。ステージではバンド演奏が行われ、夜には花火の打ち上げ、子どもたちへのお菓子の配布や抽選会が行われ大盛況でした。



## 8/05 元大橋町内会 ふれあいまつり

8月5日(土)に、中野幼稚園のご協力をいただき、園庭にて4年ぶりに第45回「ふれあいまつり」を開催しました。昨年はコロナ禍で開催日1週間前に中止となっただけに、今回は多くの町内会会員のご協力をいただき準備しました。園庭では、町内会からの出店の他地域の活動グループ(ルーキーズ、バニーズ)の参加で大変盛り上がりしました。体育館では、風船芸やミニコサートを催し、好評でした。最後は抽選会で締めくくりました。ひと夏の思い出の一コマでした。



47号記事の訂正  
ふれあいスポーツまつり  
11月3日(金)から11月18日(土)に、変更になりました。

広報分科会：杉浦敏昭 軽野幸男 本池弘一 本間和男 篠田正之  
(編集委員) 坂本友子 原 栞 荒井文夫 霜山雅也 清水和彦  
中山陽一 末村信子 関戸篤志 新沼恵美 山田直樹  
協力：栄区社会福祉協議会 中野地域ケアプラザ  
連絡先：中野地域ケアプラザ  
(担当：遠山 TEL 045-896-0711 FAX 045-896-0713)

本郷第三地区  
支えあいネットワーク  
ホームページ



https://  
honsan-  
net.com

本郷第三地区支えあいネットワーク広報誌

# 本三みらい



48

【発行者】  
本郷第三地区  
支えあいネットワーク  
代表 渡邊すみ江

栄区では、誰もが安心して暮らせるまちの実現にむけて、身近な地域の支えあい・見守りあいの仕組みづくりを進める「第4期 栄区地域福祉保健計画」を令和3年度から実施しています。これを受けて、本郷第三地区支えあいネットワークでは、「顔の見えるまちづくり～お互いの配慮によって支えあおう～」をスローガンに掲げ、5つの分科会で活動しています。

## 本三支えあいフェスタ 2023について 副実行委員長 西村 成一郎

本郷第三地区支えあいネットワークでは、だれもが楽しめるお祭り(フェスタ)を通じて、地域福祉活動の内容を地域の方々と共有できる機会を設けることを目的に「本三支えあいフェスタ2023」を、9月10日(日)に開催しました。動画やパネル等による本郷第三地区を構成する町内会や自治会、地域の歴史やお薦めスポットの紹介をはじめ、当ネットワークの目

的や構成団体に関する情報発信を行うことができました。また、会場内に設けたブースでは、各分科会の活動紹介や、体験コーナーを実施。さらに、栄区のキャラクター「タッチー君」の来場やお子様向けのゲーム、喫茶・軽食の提供など、お祭りムードの中で、地域活動について地域の方々と共有することができました。当日は心配された台風13号による影響もなく好天に恵まれ、多くのお客様の来場があり、終始和やかな雰囲気の中でフェスタを終えることができました。

お忙しい中、足を運んでいただいた地域の皆様、運営を強力にサポートして下さったボランティアの皆様、そしてフェスタの円滑な開催にご尽力いただいた実行委員会の皆様、本当にありがとうございます。



## 本三支えあいフェスタ2023 特集

### 渡邊代表にお話を伺いました



### ——支えあいネットワーク代表 就任のきっかけについて

私の住む地域は隣どうしのつながりが強く、長屋のような雰囲気

で安心できます。このような「顔の見える関係」を本郷第三地区にも広げるために何が必要かと考えたことがきっかけです。

### ——フェスタを終えて、感想を

連合町内会・地区社協・支えあいネットワークの3つの組織合同のイベントとして、第4期地域福祉保健計画のスローガンである「顔の見えるまちづくり」や、それぞれの活動などを知っていただく良い機会になったと思います。皆様の協力のもと、展示された作品展、子どもさん向けのゲーム及び工作、また防災に関する展示

物、AEDによる心肺蘇生等、来場された方々はうなずき合い、にこやかに見入っていました。真剣な眼差しでゲームに興じ、そして最後に軽食を召しあがり「おいしかったです！楽しかったです！」のお声に、スタッフも開催の喜びを味わうことが出来ました。

### ——今後も続けていく可能性は

ぜひ、継続したいと思っています。ただ、10月は慶寿会など他の行事と重なるため、時期をずらして3月頃を考えています。実行委員会での振り返りの結果をふまえて考えていきたいと思っています。



### 広報分科会

2009年に地区社協の広報誌としてスタートした「本三みらい」は、翌々年の「支えあいネットワーク」のたちあげにより支えあいネットワークの広報誌となり、14年間で47回発行されました。その軌跡を振り返って1号～47号の各紙面を並べて1枚のパネルとして展示しました。

また、支えあいネットワークの活動について、より多くの地域住民の方に知ってもらうため、30枚のスライドショーを制作し、2カ所で上映しました。カレーを食べながらご覧になった方も多いと思います。

今後も支えあいネットワークの活動が少しでも地域に浸透していくために努力します。



## 本三支えあいフェスタ 2023

顔の見えるまちづくりを目指して

2023/09/10(日)  
中野地域ケアプラザ



### 子育て関連分科会

子育て関連分科会では3つのコーナーを担当いたしました。スーパーボールすくいでは、大勢の子どもさんに楽しんでいただきました。工作コーナーでは、スクイーズホルダーを作りました。スライムの中に入れ、タッチー君も入れました。かわいい素敵なホルダーが出来上がりました。また、子どもさんに防災意識を高めてほしいと思い、防災カードゲームを体験していただきました。

どのコーナーも大勢の子どもさんに参加していただき、大盛況でした。

これからも子ども達の居場所づくりとして楽しめるイベントを企画していきたいと思ひます。また来年が楽しみです。



### 高齢者等関連分科会

高齢者等関連分科会では、高齢者と地域の方々とのつながりを深める手段として「よりそい通信」を令和2年11月に創刊しました。紙面には地域の方々からの俳句、川柳、短歌、そして多くの芸術作品が寄せられています。今回のフェスタ2023では、「よりそいミュージアム」と称して、これらの作品の展示と、俳句ポストを設けました。2歳のお子様から90歳の方まで、来場の方々に作品を鑑賞していただき、俳句作りに挑戦して投函するとお菓子をゲットできる企画を満喫していただきました。

俳句は68名の方から70句が寄せられ、企画したスタッフ一同感謝と感激をもらいました。



### ボランティア分科会

ボランティア分科会では、活動紹介掲示や受付係を担当したほか、焼きそばを作って販売しました。今年度ボランティア分科会で作成した「一緒にボランティアをやりませんか」のチラシと一緒に焼きそばをお渡ししながら、私たちの活動を地域の皆さんに紹介しました。

日ごろはそれぞれに活動をしている人たちが、一つのことを行いながら交流できた、良い機会にもなりました。



### 災害時分科会

災害時分科会では中野地域ケアプラザ2階会議室にて、以下のテーマ2つを設定し、プレゼンテーションを行いました。

ひとつ目は、自宅避難の際に有効な「ローリングストック」と、外出先で災害に遭遇した時に有効な「エマージェンシーボトル」の提案およびサンプルの展示です。

ふたつ目は、消防団のご支援のもと、お借りしたAEDと人形を用い、来場者の方々に実際に機器の操作を体験していただくことでその使用方法や注意点、勘所(かんどころ)を理解していただきました。

お越しいただいた方々と、防災に関する情報を共有することができました。



支えあいフェスタ  
特集はこちら!!



https://honsan-net.com